

令和2年度事業報告書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

I 事業運営の概要

令和2年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、観光業界にも深刻な影響を与えました。名古屋城も新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、4月上旬より5月末まで閉園措置が取られ、6月からの再開園後も入場者が前年度を大きく下回り、年度末には例年より早く桜が開花した中での「名古屋城さくらまつり」、16年ぶりに金鯨が降臨した「名古屋城金鯨展」などのイベント開催により、一時的に入場者が増加しましたが、総じて客足の低迷した厳しい状況となりました。

当協会の事業も中止したものの、感染症対策を講じながら実施したのものなど様々な影響を受けており、特に公益事業の原資となる城内での販売事業については、協会設立以来の危機的状況となり、経費の一層の削減とともに補助金交付申請など、経営安定化のため必要な対応を行いましたが、大変厳しい一年となりました。

II 事業報告

1 情報提供事業

- (1) 名古屋城の案内、名古屋市及び周辺の観光等の情報提供を行うとともに、落とし物などの対応を図るなど入園者の利便に供するために、名古屋城総合案内所の運営を行いました。

設置場所：正門横休憩所内

来所者数：22,502人
(内、外国人235人)

質問数：23,601件
(内、名古屋城関係20,769件)

※令和2年4月10日(金)から
令和2年5月31日(日)まで
名古屋城の閉園に伴い、運営中止。

2 教育文化事業

(1)名古屋城の魅力向上に資するため名古屋城内において次の事業を実施しました。

ア. 名古屋城初開門「干支の置物プレゼント」

開 催 日：令和3年1月1日（金・祝）

会 場：正門、東門

内 容：新春の初開門を記念し、来場者
先着1,000人に、干支の置物を
プレゼント。

※例年、名古屋おもてなし武将隊により手渡して、
実施していましたが、今年度は来場者ご自身で
お取りいただく方法で実施。

イ. 名古屋城で初「夢」を書こう！

開 催 日：令和3年1月2日（土）

会 場：本丸御殿孔雀之間

内 容：初代藩主徳川義直公書の「夢」
をお手本に、ミニ色紙に「夢」
の文字を2枚書初めし、1枚を
コンテストに応募。「理事長
賞」、「義直賞」、「初夢賞」
を含め全作品を御深井丸展示
館で展示。

※新型コロナウイルス感染症対策として、「本丸御
殿孔雀の間、茶席使用にかかるガイドライン」を
遵守して実施。

ウ. 季節の花でお出迎え！

期 間：令和2年4月1日（水）
～令和3年3月31日（水）

内 容：四季の草花（和物）を植えた
プランターを施設などに設置

設 置 数：舟形プランター9個、丸鉢11個

【開催を中止した事業】

- 第132回名城市民茶会
- 第133回名城市民茶会
- 第134回名城市民茶会
- 名古屋城の石垣「石垣の拓本を採ろう！」
- 名古屋城茶の湯体験「茶席の見学をしよう！」
- 「新春 金の茶釜」
- 名古屋城スタンプラリー「宝さがしをしよう！」

(2) 名古屋城の魅力向上に資するため、名古屋市等が主催者となり企画・実施する事業に、主催者の一員として参加するなど、円滑な事業の実施に協力しました。

ア. 第73回名古屋城菊花大会

期 間：令和2年10月25日（日）～
令和2年11月23日（月・祝）

会 場：西之丸（広場）
本丸御殿孔雀之間

出品点数：大菊の部 111点
山菊の部 78点
切花の部 122点
特別出品 9点
参考出品 10点

イ. 第47回名古屋城つばき展

期 間：令和3年3月6日（土）～
令和3年3月15日（月）

会 場：西之丸（広場）

出品点数：第一部（愛好者の部） 108点
第二部（生産者の部） 38点
新花の部 1点
特別出品・参考出品 25点

ウ. 名古屋城 PR イベント実行委員会事業

○名古屋市民の森づくり事業

中津川、木曾へのバスツアーを実施し、名古屋市民の森での育樹活動や現地で森について学ぶ活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、代替事業を行いました。

【中津川市】

中津川市協力のもと、名古屋市民の森や木曾ヒノキ備林での現地取材、山守の末裔である木内哲朗氏へのインタビューを行い、名古屋城公式ウェブサイト内に特集ページを作成しました。

【木 曾】

木曾広域連合協力のもと、「木曾の林業」をテーマにオンライン講座を実施しました。

日 時：令和3年1月9日（土） 午後2時～午後3時30分
参加者数：41人

○名古屋城検定事業

【検 定】

開 催 日：令和2年11月14日（土）

会 場：名古屋市公会堂

受験者数：204人（初級90人、中級59人、上級55人）

合格者数：130人（初級72人、中級30人、上級28人）

【講 座】

例年市内会場にて実施している公開講座を、オンライン特別講座に変更し、名古屋城公式 YouTube チャンネルに動画を掲載しました。

(上級向け)

「天守建築の白眉 名古屋城天守の特質と魅力」

「書院造の最高峰 名古屋城本丸御殿の真価」

講 師：三浦正幸氏（広島大学名誉教授）

(初・中級向け)

「魅力発見！！名古屋城の楽しい歩き方！！ 天守・石垣・櫓編」

「魅力発見！！名古屋城の楽しい歩き方！！ 本丸御殿編」

講 師：萩原さちこ氏（城郭ライター）

○文化発信事業

【城小屋：名古屋城で出会う七宝の煌めき～尾張七宝の歴史と本丸御殿の七宝～】

日 時：令和2年11月15日（日） 午前10時～正午

場 所：本丸御殿孔雀之間

講 師：小林弘昌氏（あま市七宝焼アートビレッジ館長）

参加者数：15人

主な内容：やっとかめ文化祭と連携して実施。江戸、明治、現代に至るまでの尾張七宝について解説。また、本丸御殿の復元に携わった安藤七宝店の職人が七宝の技術についても解説。

【城小屋：木曾の林業～伐木運材図会を中心に～】（再掲）

日 時：令和3年1月9日（土） 午後2時～午後3時30分

場 所：御料館（林業遺産・旧帝室林野局木曾支局庁舎）

講 師：井上日呂登氏（林野庁中部森林局管理局職員）

参加者数：41人（ZOOMビデオウェビナーでのオンライン講座）

主な内容：江戸時代後期の木曾・飛騨地方の林業技術を伝える「木曾式伐木運材図会」を中心に、木曾の森の営みについて解説。林業遺産に指定される御料館のミニオンラインツアーも実施（御料館学芸員が案内）。

【城小屋：金鯨学事始め】

日 時：令和3年3月27日（土） 午後2時～午後3時30分

場 所：御料館（林業遺産・旧帝室林野局木曾支局庁舎）

講 師：立川武蔵氏（国立民族博物館名誉教授）

参加者数：33人（ZOOMビデオウェビナーでのオンライン講座）

主な内容：名古屋のシンボルとして親しまれている金鯨のルーツについて、豊富な画像とともにその由来を解き明かす。

○広報 PR 事業

【名古屋城オンラインツアー】

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、自由に海外に行けない状況下において、台湾最大級の訪日旅行メディアサイト「トラベルバー」と連携し、台湾向けのオンラインツアーを実施。

【名古屋城公式おみやげ「NAGOYA CASTLE」シリーズの作成・販売】

名古屋城の魅力を広く PR するためのグッズを作成し、ノベルティとして配布するほか、城内売店や城内催事会場にて販売。

第 1 弾：金シャチクリップス、本丸御殿金の手鏡（全 3 種）、本丸御殿金のマグネット（全 10 種）、本丸御殿金のふせん（全 3 種）

第 2 弾：ヒノキブックマーク、金鯨土鈴、本丸御殿・ヒノキの薫り金シャチの湯、金シャチ手ぬぐい、石垣モンスター

【開催が中止された事業】

- 名古屋城春まつり
- 第 69 回名古屋城さつき大会
- 第 65 回全国らんちゅう品評大会

(3) 「名古屋城」、「近世」を中心とする郷土の歴史・文化について理解・普及を図るために、郷土の歴史・文化に関する資料の展示・貸出等を次のとおり行いました。

ア. 蒐集資料の貸出

HPなどで、当協会の所蔵する資料を紹介すると共に、実資料等を無償で貸出しました。

HP公開タイトル	内容等
尾州名古屋コレクション	蒐集した郷土に関する資料のうち、武器・武器、藩主の書状、版画など 433 点を公開
郷土玩具コレクション	蒐集した愛知県内の郷土玩具（土人形・からくり玩具）など 305 点を公開
貸出先等	資料名等
名古屋市秀吉清正記念館 特別陳列 「-戦国を駆け抜けた武将-兼松正吉」展	「加藤清正画像」 1 幅
名古屋城秋まつり茶席公開	岡本柳南「菊花図」 1 幅 横井也有「あわれ知るや」 1 幅

画像データによる資料提供先等

使用資料：火縄銃（銘 播州姫路之住高倉甚六）
使用目的：複製（模造）の制作
申請者：姫路市観光スポーツ局姫路城管理事務所

使用資料：金の茶釜（二の丸茶亭展示資料）
使用媒体：貝沼ニュース 121 号
申請者：株式会社大井企画

使用資料：「石垣の構造」（イラスト）
使用媒体：Web ガイドツアー-「あなたの知らない名古屋オンラインツアー-名古屋城編」
申請者：公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

使用資料：「名古屋鯨三題之内 月之熱田を望む」（版画）
「名古屋鯨三題之内 雪の犬山を望む」（版画）
「名古屋鯨三題之内 桜の八事山を望む」（版画）
「温物 金鯨之図」（版画）
「東京名所三十六戯撰 元昌平坂博覧会」（版画）
「古今珍物集覧 元昌平坂聖堂に於テ」（版画）
使用媒体：名古屋城金シャチ特別展覧ガイドブック
申請者：中日新聞社

使用資料：「名古屋鯨三題之内 月之熱田を望む」（版画）
「名古屋鯨三題之内 雪の犬山を望む」（版画）
「名古屋鯨三題之内 桜の八事山を望む」（版画）
「温物 金鯨之図」（版画）
「東京名所三十六戯撰 元昌平坂博覧会」（版画）
「古今珍物集覧 元昌平坂聖堂に於テ」（版画）
「博覧会諸人群集之図 元昌平坂二於テ」（版画）
使用媒体：「名古屋城金鯨展」パネル展示、コンセプトシート、記録誌、web ガイド
申請者：株式会社クーゲート

使用資料：「石垣の構造」（イラスト）
「石垣の種類」（イラスト）
使用媒体：貝沼ニュース 122 号
申請者：株式会社大井企画

画像データによる資料提供先等

使用資料：「花園町の様子」（古写真）

使用媒体：名古屋市博物館研究紀要 第44巻

申請者：名古屋市秀吉清正記念館

使用資料：「万治年間名古屋絵図」

「石垣の構造」（イラスト）

使用媒体：名古屋城イメージソング「西の丸の榎の木」

申請者：名古屋城総合事務所

イ. 西の丸御蔵城宝館の運営

西の丸御蔵城宝館の開館が外構工事の一時中止で遅延し、一部の事業が実施できませんでした。なお、館内の歴史情報ルームにおける常設展示、テーマ展示並びに情報コーナーにつきましては、計画のとおり各種の展示など開館の準備作業を完了しました。

【未実施の事業】

○開館記念事業

○「重要文化財名古屋城本丸御殿障壁画」展示（展示室：名古屋市と共催）

○ワークショップ「金鯨キーホルダー工作教室」（歴史情報ルーム）

ウ. 御深井丸展示館運営

御深井丸展示館において次のとおり展示を行いました。なお、開館するにあたり、新型コロナウイルス感染症予防対策として次の五項目の対策を実施しました。

- ① 2カ所ある扉の常時解放
- ② 消毒液の設置
- ③ 移動可能な椅子の撤去
- ④ 滞留防止のため冷暖房の使用中止
- ⑤ 混雑が確認された場合の入場制限の措置

※新型コロナウイルス感染症による閉館期間

令和2年4月1日（水）から令和2年6月11日（木）まで

展示会の名称・展示期間等

「匠の写真館」

自 令和2年6月12日(金)

至 令和3年3月31日(水)

(285日間)

入館者数：46,245人

(内容)

本丸御殿の復元に欠かせない木材の特殊な加工や、柿葺きが出来上がっていく様子など建築過程が分かる写真を展示し、完成した本丸御殿では見ることができない多くの職人たちの多様な技の一端を次のとおり紹介しました。

タイトル：「様々な技」 展示写真 11点

「玄関部分」 展示写真 17点

「木材加工」 展示写真 12点

「造作」 展示写真 20点

「加工された部材」 展示写真 21点

史料：「ものづくり王国 名古屋だからできた？ 本丸御殿復元物語」

「まめ土人形大集合」

自 令和2年6月12日(金)

至 令和2年6月30日(火)

(19日間)

入館者数：2,180人

(内 容)

手のひらにすっぽりと収まってしまふような、かわいらしい大きさの土人形。小さな作品だからといって決して手を抜かない作者たち。細部を見れば見るほど作者のこだわりが伝わってきます。この展示では、小さな「まめ土人形」31組を展示しました。

自由研究

「郷土玩具あれこれ」

自 令和2年7月3日(金)

至 令和2年9月30日(水)

90日間

入館者数：13,722人

(内 容)

愛知県は郷土玩具の宝庫ともいわれ、県内には多くの郷土玩具や土人形が残されています。夏休み期間の開催にあわせ、子どもたちにわかりやすく、かつ楽しい解説で、愛知県内で作られた作品や野田末吉、中島一夫、前田南強といった県内で製作をした作者を39組の作品で紹介しました。また、名古屋市内の寺社で授与される絵馬12点を、絵馬コーナーとして展示しました。

<p>「ハレの日の郷土玩具」</p> <p>自 令和2年10月3日(土)</p> <p>至 令和2年12月27日(日)</p> <p>86日間</p> <p>入館者数：18,131人</p>	
<p>(内 容)</p> <p>日本人の伝統的な考え方のひとつに「ハレとケ」があります。ハレは、儀礼や祭り、年中行事などの「非日常」のことをいい、ケは普段の生活である「日常」を表しています。祭りの華やかさ、年中行事の晴れやかさ、ケガレを落とした後の清々しさが「ハレ」であり「晴れ晴れ」「晴れ着」「晴れ姿」など「ハレ」の気持ちを表す言葉も沢山あります。この展覧会では「ハレ」の日である祭りに係る郷土玩具を中心に41組の作品を紹介しました。</p>	
<p>「ふるさとの郷土玩具」</p> <p>自 令和3年1月1日(金・祝)</p> <p>至 令和3年3月31日(水)</p> <p>90日間</p> <p>入館者数：12,212人</p>	
<p>(内 容)</p> <p>愛知県は郷土玩具の宝庫といわれ、多くの郷土玩具がみられましたが、現在ではそのほとんどは後継者がおらず、廃絶しています。一部は神社の授与品等として残されていますが、それもわずかなのが現状です。当協会では、それらの郷土玩具を蒐集し、季節ごとに展示しています。本展では、日本のふるさとの原風景のイメージ写真13点(全日本写真連盟、2020年度おかざきロマンフォトコンテスト、第3回日本の風景フォトコンテストの入賞・入選作品より抜粋)とともに、郷土玩具33点を展示し、ふるさとを懐古しました。</p>	

Ⅲ その他事業

1 販売事業

- (1) 名古屋城来場者の利便に資するため、観光土産品の販売、飲料用自動販売機並びにコインロッカーの管理運営などを行いました。
- (2) 「名古屋城金鯨展」開催に合わせ名古屋城オリジナルグッズを作成しました。
- ①特別御城印（数量限定）
 - ②御城印帳
 - ③金のクリアファイル
- (3) 各種観光キャンペーンへの協力などを通じ、観光客の誘致に努めるために、以下の事業に参加しました。
- ①名古屋観光ルートバス（メーグル）広報事業
※名古屋市、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー実施事業
 - ②修学旅行優待パスポート事業
 - ③観光客受入用パンフレット等（キラッ都ナゴヤ）の提供事業
※②、③(公財)名古屋観光コンベンションビューロー実施事業
 - ④名古屋得ナビ（ドニチエコきっぷ）事業
※名古屋市交通局実施事業

2 駐車場事業

名古屋市より名城公園駐車場使用料収納業務を受託し、より安全かつ快適な駐車場運営を目指し、事故防止や接遇向上などに努めながら業務を行いました。

※「名城公園駐車場（有料公園施設）使用料収納業務」

名古屋市みどりの協会・名古屋城振興協会グループ共同受託

（当協会担当施設：名城公園正門前駐車場、名城公園二の丸東駐車場）

3 名古屋城業務受託事業

名古屋市より名古屋城発券・改札・警備・清掃等業務を受託し、来場者サービスの向上を目指し、各業務間で効果的な連携などに努めながら業務を行いました。

※「名古屋城発券・改札・警備・清掃等業務」

名古屋城サービス事業共同体受託（構成法人：名古屋城振興協会・オムニ・ISP）

（当協会担当業務：観覧券の販売・観覧料の払込及び改札業務、総合案内所における案内業務、総合事務所における電話・来客対応・ガイドボランティア・茶席管理等業務、清掃業務）

IV 法人の運営

1 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

会議名	開催日時等	議案等
定時	令和2年6月23日 午後1時30分	(報告事項) ① 平成31年度事業報告の内容報告の件 ② 公益目的支出計画実施報告書提出の件 (議案) ① 平成31年度計算書類承認の件 ② 評議員1名選任の件 ③ 理事4名選任の件

(2) 理事会

会議名	開催日時	議案等
第1回	令和2年5月28日 午後1時30分	(報告事項) ① 職務執行状況報告書 (議案) ① 平成31年度事業報告書 ② 平成31年度収支決算書 ③ 公益目的支出計画実施報告書の提出 ④ 常勤役員の業績評価 ⑤ 常勤役員の月額報酬 ⑥ 定時評議員会の招集及び提出議案
第2回 (書面)	令和2年6月23日 (決議があったものとみなされた日)	(議案) ① 代表理事及び業務執行理事の選定について
第3回	令和2年12月17日 午後2時	(報告事項) ① 職務執行状況報告書
第4回	令和3年3月29日 午後3時	(報告事項) ① 職務執行状況報告書 (議案)

		① 令和3年度事業計画書（案） ② 令和3年度収支予算書（案） ③ 役員等賠償責任保険契約（案） ④ 就業規則の一部改正（案） ⑤ 給与規程の一部改正（案） ⑥ 嘱託員就業規則の一部改正（案）
--	--	---

(3) サービス向上委員会

名古屋城来場者からの要望や指摘事項等について検討し、速やかに改善に取り組むため、名古屋城業務受託事業に係る関係者（株式会社オムニ、株式会社I.S.P警備保障、株式会社玉野エコスト等）により、サービス向上委員会を設置し、来場者のサービス向上を図りました。

開催日	毎月1回開催
-----	--------

2 人材育成

(1) 各種研修の実施

研修名等	内容等	参加人数
外部セミナーの受講	流通セミナー、接遇研修等	3人
他施設見学（徳川美館）	徳川美術館学芸員による展示解説	4人

V 役員の異動

年月日	就任	辞任・退任
令和2年 6月23日	評議員 酒井康宏 (就任)	評議員 山田 淳 (辞任)
	理事 久野徳彦 (就任)	理事 田口一規 (辞任)
	理事 永井真紀 (就任)	理事 五味澤陽平 (辞任)
	理事 坂野秀也 (再任)	理事 坂野秀也 (退任)
	理事 三輪友夫 (再任)	理事 三輪友夫 (退任)